

池上要靖前仏教学部長名誉教授号授与式

身延山大学前仏教学部長 池上要靖先生（現・身延山久遠寺庶務部長、身延山学園専務理事）の名誉教授号授与式が令和6年6月26日、身延山大学学長室にて行われました。

開式の辞に続き、木村中一仏教学部長より池上先生の業績報告があり、「池上先生の業績は周知の通りでございますが、中でも、学外ではパース学仏教文化学会学術賞を受賞され、学内ではラオスプロジェクトのきっかけを作ってくださいました。このように学内外でご活躍されましたが、それ以上に、身延山大学が2度連続で認証評価に適合した功は紛れもなく池上先生のお力であります」と、その業績を発表されました。



その後、望月海慧身延山大学長より池上先生に対し称号記授与があり、祝辞・挨拶の中で「池上先生は本学が短大だった時代から教鞭を取られ、長きにわたり本学を支えていただきました。特に、我々教員の研究環境を整えてくださったのは池上先生です」と、その功績を称えられました。

最後に、名誉教授号を授与された池上先生が「今回授与されたのはひとえに本日来てくださった先生方のお支えがあったからと自覚しております。今後は専務理事・名誉教授として、先生方が研究を行いやすい、より良い環境を整えられるよう尽力していきたいと思っております」と、今後の本学へのバックアップを言葉にされました。

司会からの「閉式の辞」の後には記念撮影へと移り、参加者全員の笑顔と共に、池上先生の名誉教授号授与式は幕を閉じました。

